

コード No. 18961

**Anti-Human
APP (C) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

はじめに : APP (アミロイド前駆体タンパク質) は、アルツハイマー病における老人斑の主要構成成分であるアミロイド β (Aβ) の前駆体タンパク質であり、スプライシングの違いからヒトでは主に 3 種のアイソフォーム (APP695, APP751, APP770) が存在します。このタンパク質の代謝経路の主なものは α セクレターゼ、γ セクレターゼによる切断を受ける経路 (Aβ 非産生経路) と β セクレターゼと γ セクレターゼによる切断を受ける経路 (Aβ 産生経路) です。前者の代謝経路からは切り出された APP の N 末部分が分泌型 APPα (sAPPα) として産生され、後者の経路からは分泌型 APPβ (sAPPβ) と Aβ が産生されます。Aβ ドメイン両端、つまり β セクレターゼ、γ セクレターゼ切断部位近傍の APP 遺伝子変異が家族性アルツハイマー病で確認されており、APP からの Aβ 切り出しの過程がアルツハイマー病発症に重要であることが強く示唆されています。APP 自体の生理的機能についてはまだ不明な点が多いのですが、神経系と他の臓器とでは、その機能が異なると考えられています。

免疫抗原 : Human APP の C 端部分合成ペプチド (NGYENPTYKFFEQMQN)

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定
溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び使用方法 : ウェスタンブロッティング 1 ~ 2 µg/mL にて使用可能
免疫沈降法 3 µg/test にて使用可能

特異性 : Mouse, Rat と交差
APP695, APP751, APP770 のすべてのアイソフォームを検出可能
sAPPα, sAPPβ と非交差

参考文献 : 1. Citron M, Oltersdorf T, Haass C, McConlogue L, Hung AY, Seubert P, Vigo-Pelfrey C, Lieberburg I, Selkoe DJ. Mutation of the beta-amyloid precursor protein in familial Alzheimer's disease increases beta-protein production. *Nature* 360 (6405): 672-674 (1992)
2. Goate A, Chartier-Harlin MC, Mullan M, et al. Segregation of a missense mutation in the amyloid precursor protein gene with familial Alzheimer's disease. *Nature* 349 704-706 (1991)
3. Selkoe DJ. Normal and abnormal biology of the β-amyloid precursor protein. *Annu. Rev. Neurosci.* 17 489-517 (1994)